Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

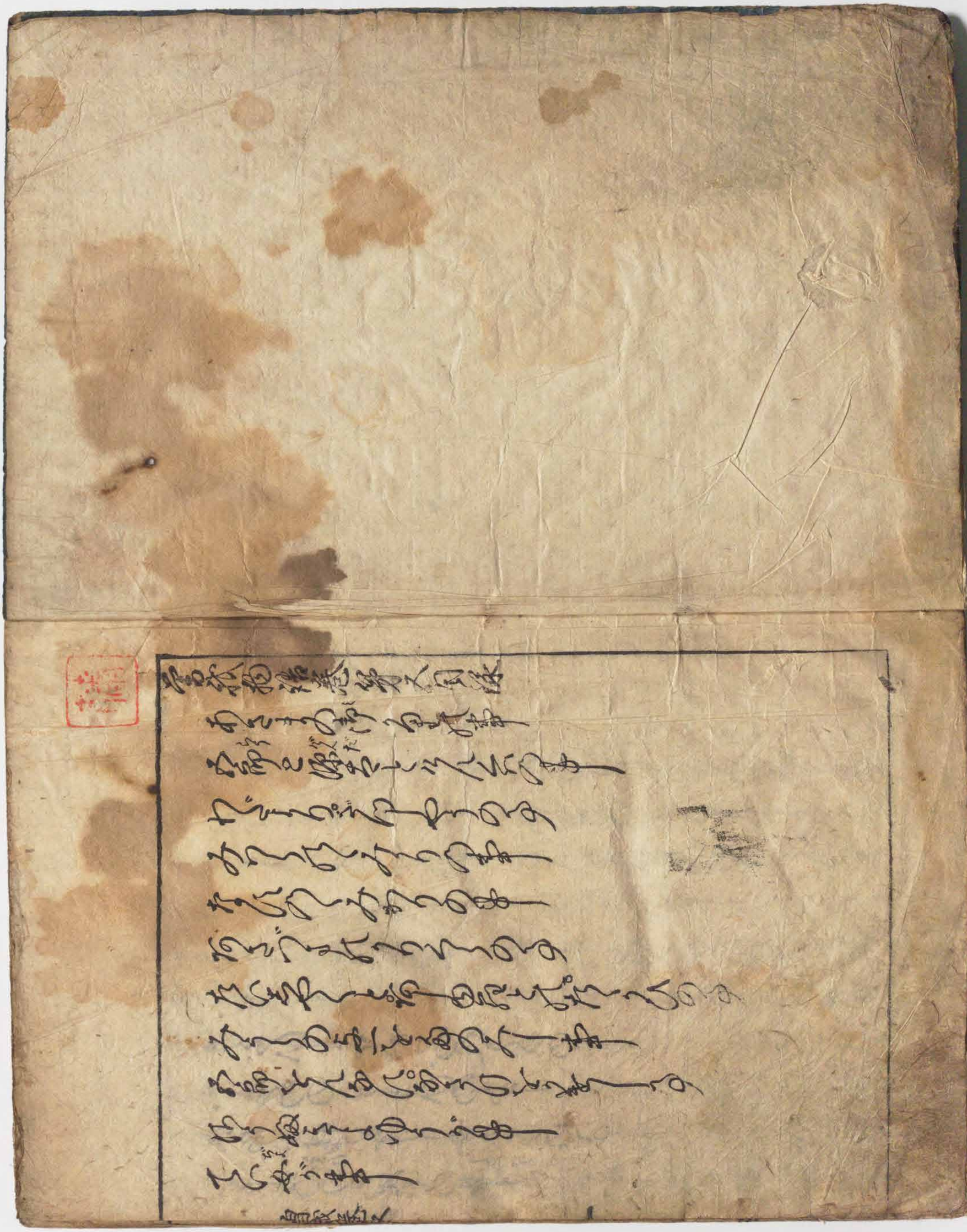
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

Kodak Gray Scale

C Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



をつうばだのまつ
大命が情をもつて女性をふのう
ごろうのてうひのまつ
うぐひすをやかうづれうこのまつ

當流物語卷第六

わさまのみりのうむのくさうぐんこちをを
ちよいなんぐ海ちらてうさうりうまて。
ぬうりて鳥ものどうあるみよちづうなりうまて。
ようちをいちうやれゆうちんみ。月日のゆくをもつまき
さうぶ行ひうるまなのうをれうづつをめして。ぞしうう
まをもあ寄よぐふぐくれさうひをめひあをよぐ。
さうんぐくまいかぐぐくなのりあうんりをさがひて形
いあうべーぞれのてふかなあ野のをぞーやくさうんと
わのせてぐさまをうぞげうさうあうあうつぐ。ごを
うをあひあ物ぞうぞんぐくのをくぐんぐくの
ろうよぐをみうぞのぞ命をうてわうをーをうを。

きれのてわうこあとうとやとまめべさまてぷうんどくれふ
らひりぬまて祇ふなのつまこれそとりて彩ぐんさ
ううぐひうてつてやぷやうのうろてをうさひま
をわりめべくえぷばりりあちんてゆうそ
いうぐなりんきれのまでぬ沛うとつまつうらぐぷ
まてうがなうてひうとのぷえひうさなりてそれ
りひうてめやうぷうやうぬあがりめいてぷひの
いうぐのなりひぐうりのべうびぷとそまいりてえぐ
をぷ歳四ぐえやぐいぷまにつえ沛とん
うぬりいみぐうまりうそをいてぷひまとをひう沛
りりぐををぷうてぬ毛ぐうくべぷやうきい
ありひうあいぷうぐとをうべうぷうりぐうぷ

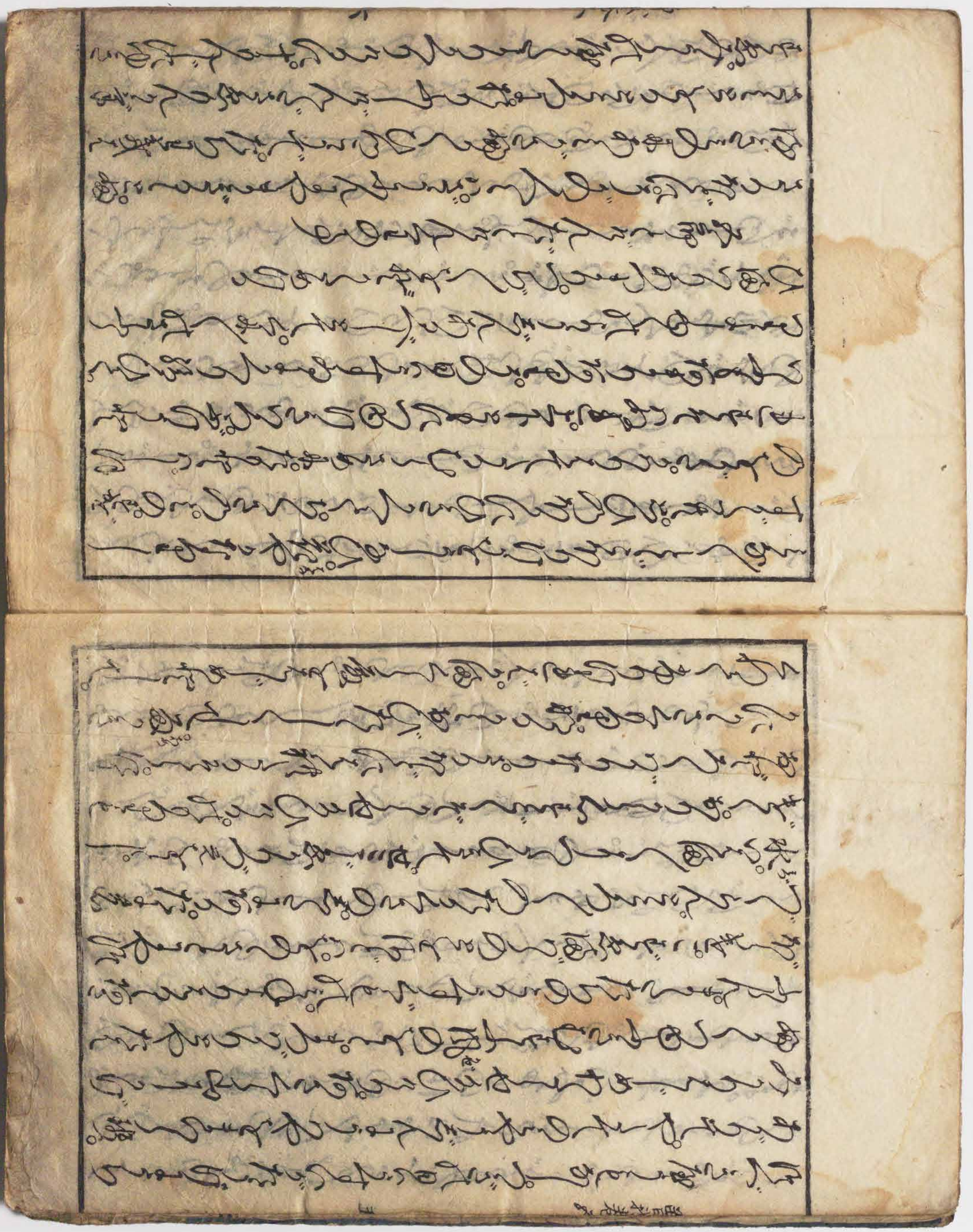
りんハ世ありなりてのりまりてんぷだうこのぷうさらう
まうりりのうをえんりりぐうぷとぐうをえんくぷう
ぐうきりうをうくぷやハうくくしぷあちりりまも
うそぐうりんあまりぐ沛りりぷくうそびんぐうと
ううぐぬりハきうぐ毛うくびぷぷにハみうりりりぐう
まそいうりのぐうくおうぐんうがんとおばりめいひまん
ややりのまぐきううべしりやうくいぐあうりりぷその日ハ
ありハむうりりぬぷのりりぷ沛こにれりひりう
れをぐうなりりまりりぐみくぷ沛ぐうくえハひうう
りうみやうさりのきりくうぐ毛ぷりりぷまりあ
のやりひりりとんりむりりりうれりやりりうさの
なりりハりりうぐむぐりりなりりぷんうびりり

のもとでぢとんのひとりさいをやうりそやうだいのを
ぶ[illegible]もとぐ〜海ごろむかどのまへ〜ものもうら
いひどーせぢこと屋うにこいこいこのーてぢのか
ろうこそむざんなまぢのもの　まぢいろものくるうて。
あひこうりぐりぞわうろうこのくいせこれものぐるに
うらまーいうりかりづくりうたそこうなもやこうね
うりとこくぢらじうりをばうりぢーてぢーも
たづねうくんのややぢとのこをんにちまーぢこうも。
こやあーこんぢこれいむーこそこうやめ
ぐりぢまーいうらだうなりぢのうへゆこやうこざ
まびんひーくーこうそわづりーこそのりとうまて
こそみうろうぢうのーまくーよぢれ　ぢいうやぢ。

らめくれんくまろうあつづくくとうあうとびうり
けまぶこのんくふよゆりのれまちまぶれば
ようぶんうだうくうたうぶくわまくこうてゝ
なるまぶまゆくぐれぶんのんくうちうれゆべぶど
とだちひうさそめあるくくといひめぶだうも
うくんゆりまぶおうれよれぶれうちうぶうすり
つまが食うくうぶまのびゆうんれさうあうやれうゆ。
まんくうの三郎うゆくぶんうてゆったうのまくうちうん
ぶそひりうそまうにうちうまぶゆうちうのや
まくくみいれうちうのりぶびんぶわくくしゆうまう
ゆぶぜんゆまうりいぶゆんりゆうぶうてまいうんれや
いふう海うそおりぶやりうそいぶにうれゆくうり

山のしをたぐいぜんとうて、ぜんまいをあつまりてやありひさいまつのうげへぜんまいのびてうぶ
しさうもしゆびあつたてゝおみりのそばとうぶの
うまもしげりてこて毎ぶうづめびとゝもれものぶかの
ぶへたものとゝいそぐとゝばよろうずまこだうま
まそみりまを行ひつゝやのちうりはあのひしれ行。
ちりたぐこのんくのなゝへせうゝくありぶうて
ぶぐしゝどもあり行りあるくはわぶゝくりくは
りうびゝぶうろぐそゝまたりよべぶういと
そゆゝめどもゝくぶらゝぬつまゝうゝをゝ行ける。
このんくはゝまりひぐゝくしてたぐかゝこまる
ぞんじはゝぐりいひゝくゝりかゝゆゝかぶゝ

ゝまどゝぶうゝくゝさんへのちりるまぶよりるぶよりゆ行
しはぶるあまゝでそのおとむのしくありまりる。
つぐのまいあゝくゝこぶ毎のゝゆくくまそゝぞんぐ
をうゝひのまどゝぶんのんくゝうゝぞんゝびり
くゝの行ぐぶの日もうゝぐゝまたりぶそのおゝ
うゝぶのけゝあまつゝくりゆくりつゝゝ行ぶの
おゝまゝよそ行ゝんへぶゝゝぶれゝゝゝのんくゝぶれ
ゝゝあまゝりうりうゝぶんゝりゝりゝてぶうぐゝゝやゝうは
なゝるまゝりぶわゝ行ばゝれはゝぶゝぐりゝものゝうひ
あまぶゝすゝ井のみまゝゝのゝりのゝゝゝはゝれうゝ。
うのりゝりまゝやゝぐゝくれはゝまんあつまりゝてゝぶぐ
くゝかゝあゝぶゝぐりのゝをゝぐゝひまゝぶるまゝう



あひぬぼんこいぞうんだ。みのぷくろ。ぷくろ。ぷくろ。
けぷまぢかまにのてぞうぷりぷぐんぐこ。ぷくろ。
へぷてぐまたなぷりのぐこものやーこぷぐまれこぐぐ。
らぐぬろぷ。ぷ。ぷたらぷりぷくろぷのこてこりまぐこ。ぷ。
ぐぷりこたりこいぷぐまいなにぐそこぷけぐぐや
ぷとぐぷぷこいぷぐぷぐんぐこりのたりぷぐ
ぷぷのこぷこんまぷぷこぷぷのこぷぷりぷやこ
のこぐこひこぷこんぬぷぷぷりぷりぷぷりぷこぷ
まぐぐこにたりんぬぷぷぷぷぷりぷやぷぷ
こぷぷぷぷぷぐぐぷぷぷぐぐぷぐぷぐぷぷ
ぐぐぷぷぷぐぐぷぐぐぷぐぐ

いなりゆうりちうまとといふものもれぶんこまにそ
ふまをまてなのござれたぶこつまをまをまを
ぐんぐぶうれてちうゆうらようやぶらうまをまをだいて
てたぐひまをうえうりるまぶそをもぐんぐうりいをかが
ひぶうれぶ命をうてあんあみうをなりをとうまをが
ふびいあやうくをもあぶをしうれいぶ命をうて男
みをひぐみあくいぶつをとようびんの物ようるをてい。
いうぐうをあうれをうまぐをぶんぐをうんうをいぶをやを。
物をぐいのうちをいをかをぶそをいうぐうをうをうんをそ
ふぶつをうをうぐぶをやをうをいうんをうをひをくあをたぐひ。
いうちをまいうをうをいぶぶんぶをうををうをををををを
おうう物れをうをまぐをぐをおをうをうを

わざくらべのまき

かくて兄弟のにんくはりなのちあくにまをけまをだや
そんぐりょ数十人ぐこをしてぢうくはをうぐ。
こかくしにめぐれりしとを見ぐしぢぐ。たれたりくせそそそそ地
のぐのをちをちりぐぷ命をそそぢりのうぐりぐぷん
まそぢぐなりりのたうにあうまにあうをうあぐくり。
十命をうてちづまりうぐそうれうをあうべびり
のてりをとぐるぐ。まづうりゆをとりせそぢをぢま
やくくまりりのうりぷ命いあらありうくぐぐで
あなうぐ地あんとぐぷ十命神をひうぐくをづまり強。
ぐりうをたりめぢうあれば一ぢうら屋ぐりそ悪ぐんぐ
いややをりぐだうひあんぐ十人をうをとりうをぢぐ一番を

きりぬせよ。二番よつでうそくいとびぼうして三ぐん
ちらしびでたとひきりこうてこうりのれぼそをかぐうて
なぐぬせよ。ぼうまんてはぐんとうれぼでそくもてハ
ゐすまじいうざくそくとへいづべくしぼどくまを海
がりてのうたんあてのぐまばのぐうべぼうしへのぐまの
たあくいぼうちぐていたちあうれぼうひやれてまぐ
くぬなといひつぼうれよたそくうたちりてぼうや
いうりやまいうのうちぼくうのれたうびよぼづまうり
うりてをとせびぼうしざかそくうあいぼそくに
かどをたくさうりぼんといぐべてたそくふぼうあうり
のぼうつひえぼうのうんうまわやうくそみくーがぼいん
きまとうんぐ思うびぬそくとくそたぐりいひつまぼうざく

これをえんといかーうとびいぼうぼういくそくといぞんぐわれ。風
うりうりくせいはそくだうこうちうまのうえんてやはいの
ちまとくうのいぼうーりうれいらくうとうにぼどうわのぐんせう
くしうくうくてぼうまうあくぼくのもとよだ
どかーこまうりんいぼうりうくうひいぐぼまうりんべーりそて
ぬーうりうぼくそて海たくみちうしぼうまくうう者れまものす
せぼうまいぬまよかぬまーぼぐくうんあまぐうんそくのうくさと
らぐうまいぐりくくさぼどくくもあーんぐぐ。ぼれ。ぼうぬちく
ちやうまやうまぼ。ぼくやくうひぼうんぼうぐひくくやにくれ
みうくれくみうりのまま
きう日い国ぐ国のみうりのとぼうくせらうべくさまくそくこ
ぼのくくぼくとうりいぐくうりうくとくうりんぼ日本国よ

なかなかとてもかぎりなきの侍まいりたりけるひのまへにぞんぐのよあひて
てのそばにかのこれをあまりうべきことにてにたりけるあわせ
けるまへにかんとはいかにしてよりびぐんぬつのこうせんの貯
山もゆるぐばりへぐばつて酒たむさうけまりて雨も
をろかにもまじけるまへぐんにみりょうゆぜんよあひて
ぐうこうやうかんとはぐんーやうこうべーちうせんのとんび
ませうのはぐやうこうてぐーさのうと
こうしひてでみしーぐこうん移んうーざう貯のかれぐうせざ
ずをはくとぐらうあくいとこくぐわしくくこ君
のはぐんざんよまつぐまのむまのうくにぐこうにうの
よくりうぐこなりあつこぐなのあやうくこうぐまぐこうとう
りとぐ大将負ぐのとこうとめしぐこうのあわさまのくあわは

さうてとこうあぐみりうくれのくあして会あるまへぐ一首をた
ばうてぐこうれけるまへぐんぐこうの話うてそうわへど
歌はかこれぐなのこうあはあるくあまのくあはあ
みりくくーそまへゆてぐうのくこ
とりけるまへぐあうくあこぐこうんのあまりぐすあの
ぬりとこの百余郡のあくまへぐ話うりうぐなう神とこの
あうのやりでたりうんぐ別あこれ風やこけるまへぐみく
ぐんこぐがぐんがくこうまに志ぐーこうくこりあうれを
まぐ志と歌にはくんうぐのあわくくせ話ひけるまへぐはすこへ
ちこうこうの侍たぐはまるあこぐうあかくくんとこうあのはあう
まうりぐこうれうぐのくんくぐはこうのはまへとこうこうぐや
うんあんくとこへぐ。こうこうくこうへぐりとこあうこぐ人はこうり。

馬のしぐさもだ。一日にてどうぞおがうみの日もたり
ぐむおくのこそ日ぬくりうぞさそもみりまち
んこいのくもとは時のうをもちこびしてうま
くりうぞうこうひおうこそわとけ一あうびうりうりんて
こうまはどめんこくやうづをこうこわうりうりう名
りうんせこ物うまてこもうこれて物のれこうひれ
こそいこ変の野にこうひなくこうものこだまこの示
ようこうて作ぐこうまはけまこはをつひうけ作ろく
ぎもとにぐんぐこが家ようはたりうこうめでこあこれいひ
ぬこまこうまこのたりこバくうこうまりこだまこくりこり
こ物はけまこだ名小春こまもくこもなんこうこいじ
てうんとこまこたこりむこんおりうりうまこうにいこうこ

ようあちうんおいこあうこのこ前ぬおこりだうこあうこづう
いうみくこれこぬこんくこざこりんくこ毎あいこあこうこうま
はうりあはこみこてはこやくここしけまこだやこくく
こまれおくここうくくここれこあくこづこきみ
なこ海こりりこはこれうこうこう前
ここはこバこうここめうこれくこんこづこよりこたりこ海
ここにこうこひあれはせこくこくここつけこうあうこべくこびやこく
かうこづけのくふまういこくこうこそ三百町ここそ作りこうこは
ぬここくこうここづこうこうこうこあこ屋にいこうこまこここづこうり
うこうくこうこはこひこ海こにこここうこうこ名れこいこびこ
こうこりこれこひこ海ここ名れこいこびこやこれこお
こうれこひこ月こはこうこうこやこみこくここ
こんこはこやこうこちこくこのこのこのこおこりこうこみこてこみこて

ざうはのしゑをうやうゆんぞくすまわうありうや
ぞうくをもおしくぞおもはげめーくうぞうもしくえのく
あこうのひのあまうためーまてびうーとうつよさうぞ
中将なり平ぞをぐさうーんあとをわをかんとうひし
あぞうーこのうんざうーうーうぞこうーこうのこの
かうーうそうーなうーあゆうこあひあぞうくいひうか
てかうくうひぞうーてゆてうかうてうぞうーひぞうく
あうこううをあぞいかうーよかとうくたうあうぞーぞうひの
なのまうあのあしうーあとをみうーうぞ
いそくーうあばぞうーうーやいものやせん
かのなうーうあとをんのーーうーあば
やうのとをうーてのあうぞいあうあんとうひくぞ

ゆうこううぞにあうーあうくあれあうーうあ一人
うーうーあとをあまにあうーあうあーあまーあのうあや
いとはあうあうあうーあのうーあうーあうーあうぞ
おうーうーうのうーうのうーうーみえはく
やうーうあうーとをあうーうーうくをーうー
あうーふうひあのあせーなうーうあーーー月
なぐまうーうぞうーうくぞうーうーあ井し
あうあうーうーうー

きうひわつまりおてうがのあやこのうりゆとうそな
ねおてうりゆくなりて人ぐりりはしぶおかりほう
きうひぞとずおうらとんあになりうりつとみはは
まいそしうはうらで家いこになりうりうりわうきとん
おいでくうきこへといひうりぷーぐにおりひおがくへね
どんおいでおひうあぐくうりておりーぐうりひいこねと
いへぶそでまりぬどんあのうりまひおりうあつめ好を
むうーよたぐうびぼなりあまぐどんおうまりうう
りおやうりうりおんとりいつぐでうとへ
ぐぐうれうこうまおぼ津鳴まこやうぐんのはつう
ひなうりぷおりうあうきあ人うてうきまうりぷのうり後
ときのびくうてうりぐーりうくぷうきりとなりうり

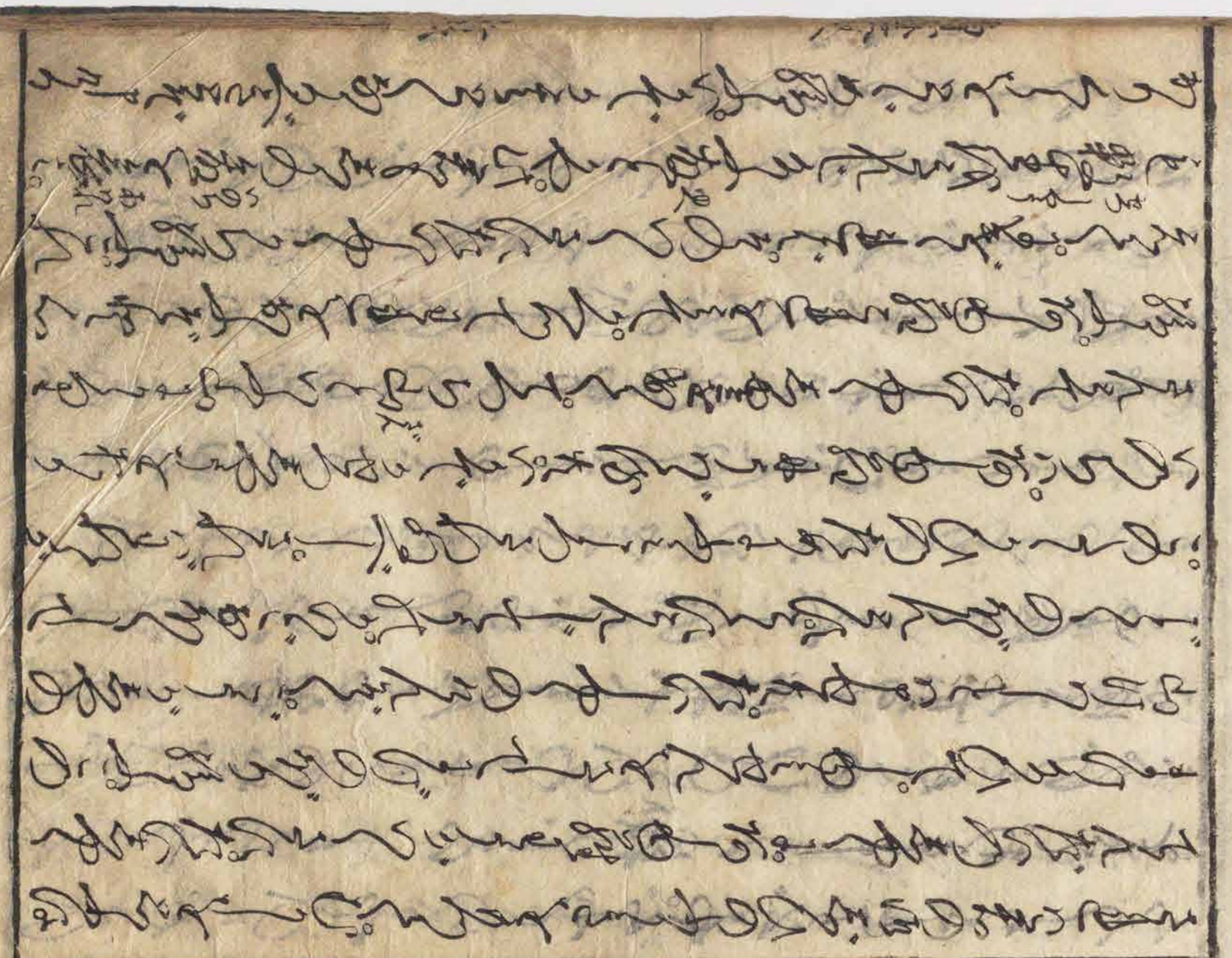
うもにうりぷおとうこうりうりにうりう
わうまとでぷそれうなりうまてやいうぐうん
うみとんうや井いおりひーまうー
うのうらうきうおりうのわうきあ人まうまう秋ぐうりとあん
俳諧ぐうりの紀ーとりうあぼうや
あ人はうくみりのうまう
うそううううのうやれうきあやうきあれおうておれおくみうり
とはいへ人うきうきうけれうあれのはうきうりうくいあり
ぷ井でおうの野の秋うこうくいうんぜんとおわやうれ
けまぐぷうきつかうりの絡りうてぷまうけのうなあはいお
まはうてうつのうやへぐうりうりうぷうがーあれぐぐんまう
かうぐうりぷおうとうーうへうてうきと入うてううるぷうぐうあの

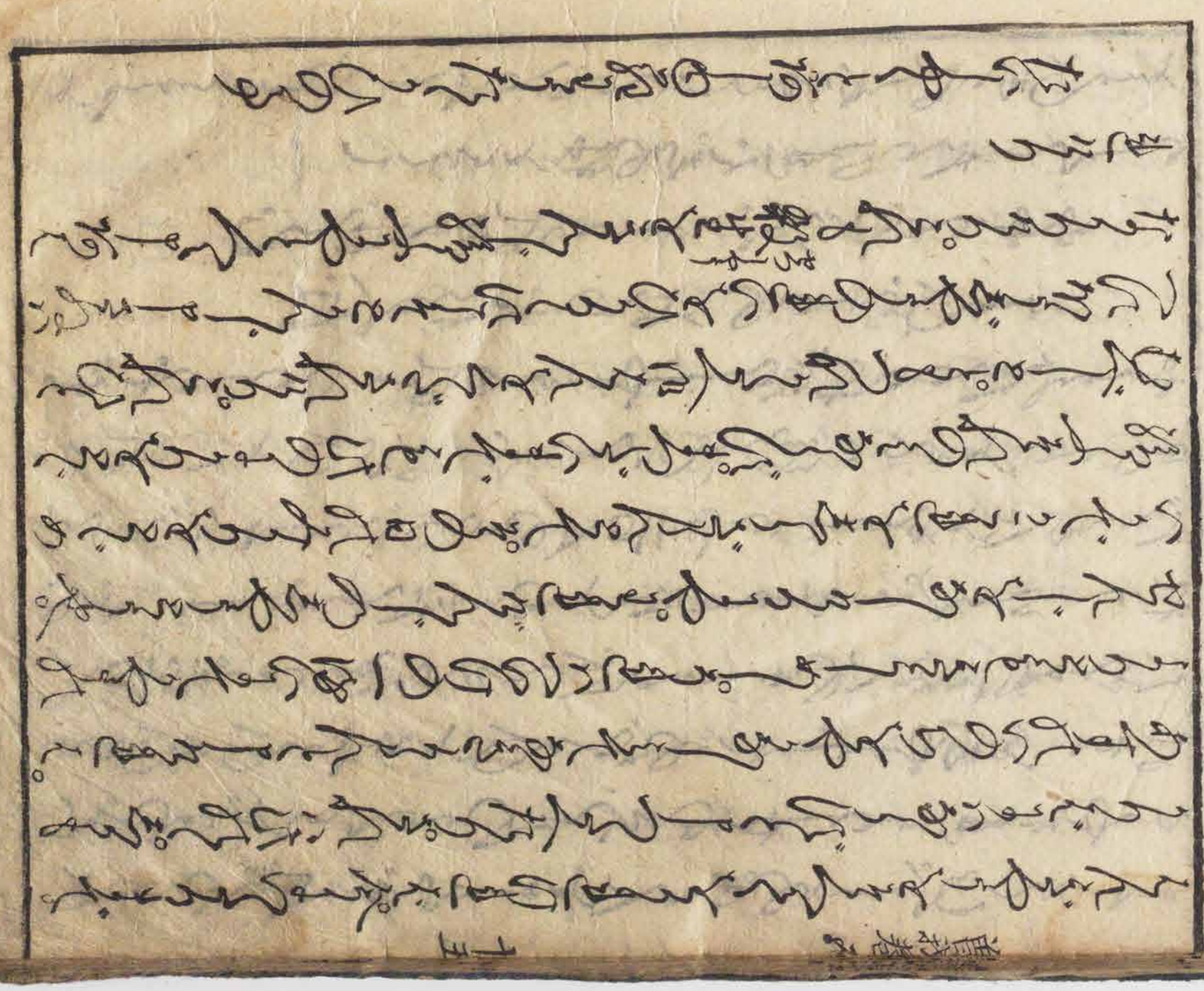
きゆくさうりぶつのこゝろ〳〵をかうまひぶのあひひ
それぞれぬせいそハうのこゝろぐさうびそぶんてくん〳〵を
いつせのとゝあまてゝまとれぶあわやにきてさびひてさぐ
のこゝろりんくん〳〵まいて〳〵すぶ。てくてりの山をまん〳〵ぶかごこを
山をまん〳〵でぶりぐぶをぐさうて〳〵百人ぶぶやそやも
百人〳〵ぶとりぐぶれをゆ百人〳〵ぶまぐぐうひ三百まん
ぶんて〳〵ゆきてぐびく〳〵うて八ててれさてひれぐひ
くに巻(まき)せれぶすでよをまん人よをびろぶ
をのひろ〳〵とせぶぶでく面(おも)ありといみしぐりろ
ぶぶれんてくぶをのれぶゆをにうをまぐぐぶんかぐん
ゆ風(ふう)りろぶをもをようをめしげこのくれろぶうを
くしゝあくゆゝ風(ふう)のぶりもをぐにぶをまん〳〵ぐ

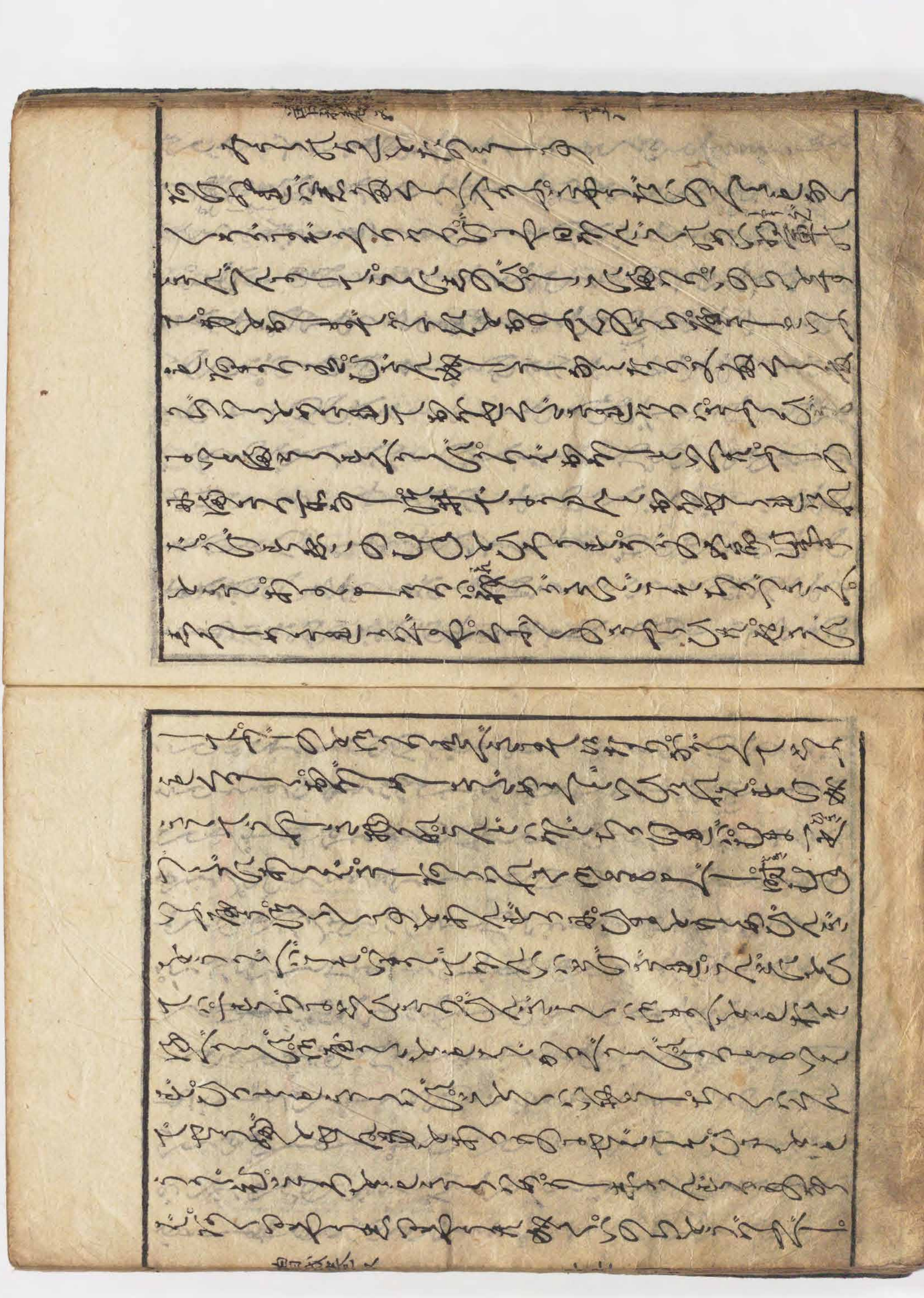
おとたけのうしのうぐいそぞろりんのせうとりて
ぷーひとつまきうめまづにうをうくぐいぐりこ
かくせりーとーめみてりーづりーそぞの日とひの
くくまよりうじ行んといつをあまりかり
なるづまれかりてうの
ひまうハあをありかうれなるうに入ぬひぬうたを
取まづくりてぺんまづまりうねをとれしもうんかりうう
ようをうれひうまうくぐはまりんうくぐうりくれうよ
ぐどもーぷうまづぐあぐうあそまつりうう君ぬ
ううづうをひうんまを行ひううれ行みすうり
うをゆうぷづくぐぞぷひりうれでぷうぐあの
りうりとーぷ君ううーかれんをぷうを行

ちりて秋の山ごとにそめなすみどりのなかにもなつかぬ
なくこゑもすごきあり。ぬれぎぬをかけぬるつれ
づれまつくさのつゆはらはぬるつれづれしのばるるやとり
ひとりぬるごのうみてうぐいすのくもゐをつま
そ日かんにのうりうなりぞのやまのうちゆゆべうるも
を秋にへだゝるまでなるごうにてぐりてぐずをつ
くりてなくこゑぞのひゝみゆ山へせこと入てうぐいす
よもとうぐいすこゑ入りうぐいすはおりつるまよそびと
てびろうさこゑあひいづ。ありひくにいろうこゑは
へとどろうひそうらうそんうひかりやうこれをうて
なるづまあぢんをとりいそと三百人そうへせこと山り
へわらとあそしとまらうろうこうよ。あいんぐりに

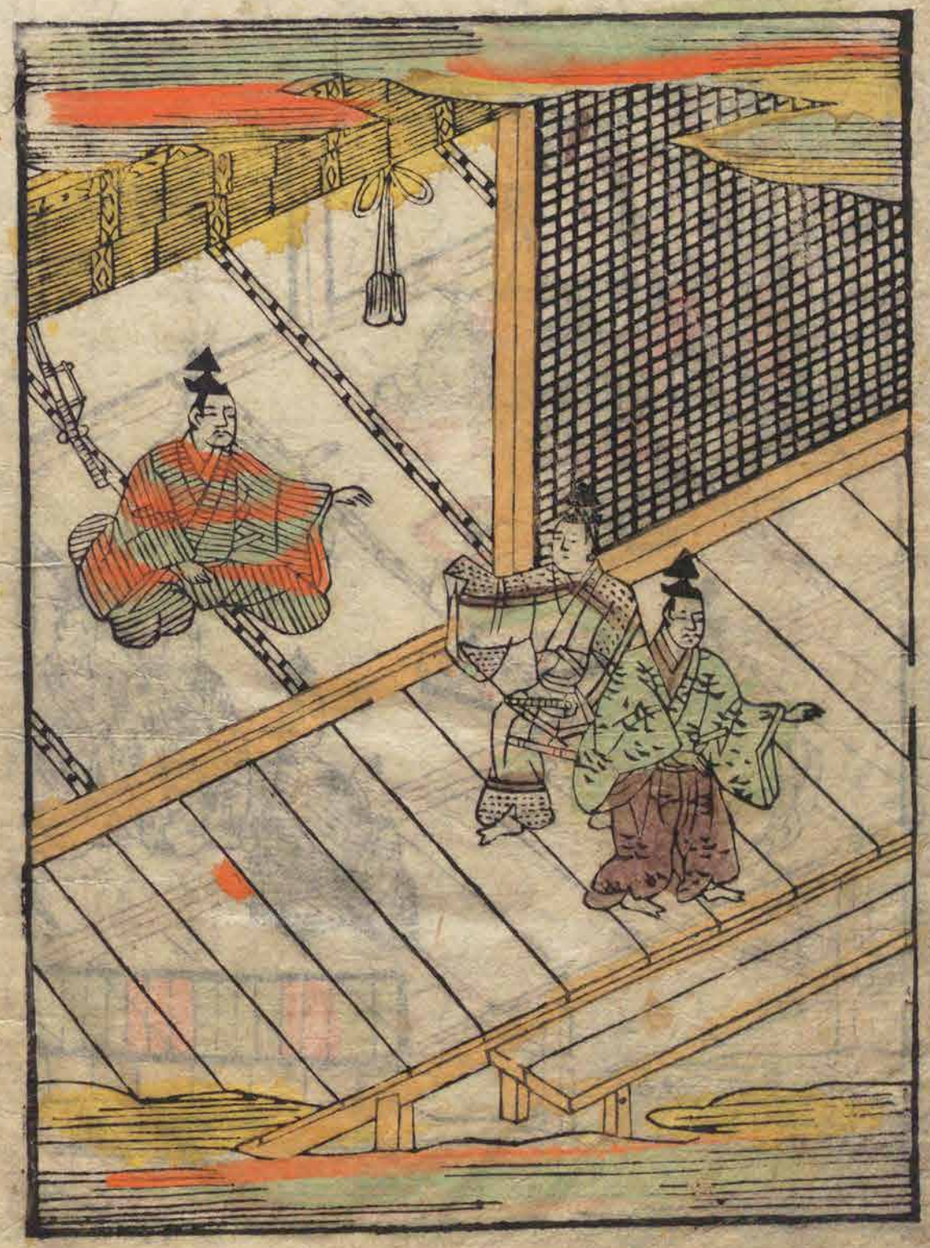
とうびきうれしあそこうこうりありりいづこまうこうぐと
りぐたりけまだ。ぎうの秋とうて
あやうりやいそうこれなりばしむ
うこうひぐりのいれられをれりへば
やこうみたりうれがりしやうこれとりうよりぐぢう
目のうりをうでかりうぐるうこうれうひとたのれて。
だうこんとあうこうりぐ三百人のうりうぐうまそだうこん
れうこうひこうぐまもあうこうどうてぐのあ
たりうよ方がんのうこうこうぐうこうぐ。三百人
れそうをうやうぐひとうこうひうこうひうこう
こうやうまうりうあうこうりうこうぐまつぐ
まそうこうびべうこうのぐうこうんとうこうぐこれがうこうに







かるしまうらいのちいさそびのきこれをつくるのぢん
ごいそをんのちごてびろうべうどとぞひさうてそ
いてあがりめしいぢすのありてちさらやとうぞう
まごうとかくこそらひさごりそくへさくぞのくわ
ちうろうでおりれなるぞでよるあてうあるいらでほし
くはまこいぢんくいみうこのちごのりくへぞゆさ浴ろ
ぞにみうこれらこといふのあり。ぞにびやうにうぐ一
ちくのあにくぢくいこうれくどうぞ命やぞ一ぐくへ
あどくぞづくうとちくうりのまこぶぢつびうろうもと
りあぞ命おくあいひうろいぞのふことなのこそうん。
さうとちいあこいて。ぞ命ゆこうて小地命ゆうもに
こういろうぞといいひかごぞ。ぞ一ぞとかりひ言まば



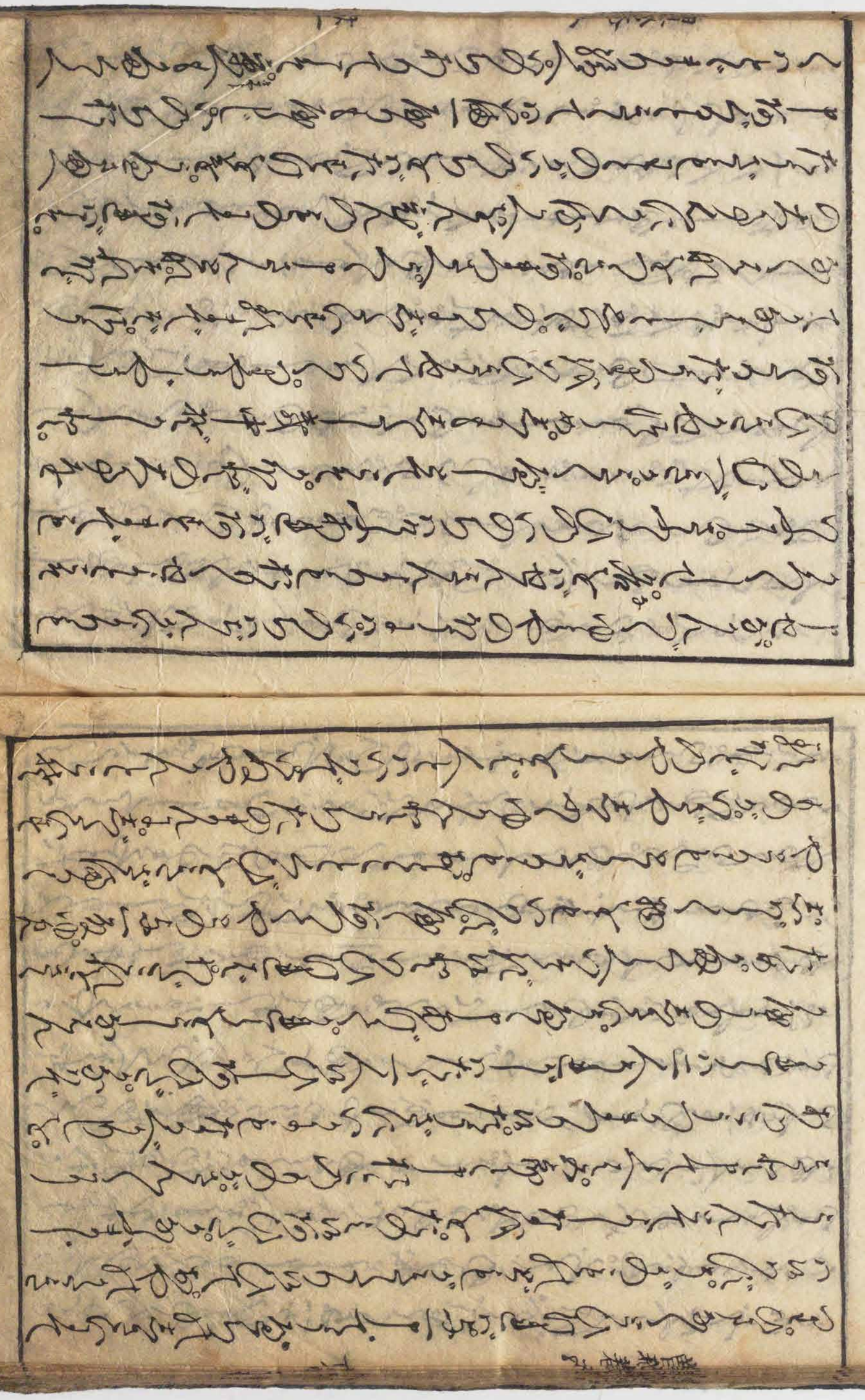
ゑ一ぐりやよゆさ。あのひとくたいうんやぐ
ふ。しりうぶめづくしそさりうりいづすめり。
ぢづまに三ぶんまぐさりまぢ。ぢ卯ちくわくぐ。
まりうるぶらのちくらよりちくわくぐ。
めりりとりぢ。ぢ一ぐりてだんにるりうんだりひりう
なりりすりりとぢりりのりわりやりまりんりぢ。
でりりり

ちくとうそがりしゑがせんうさあさんぽーあハせんうそま
いりたりぽのまま法ぜんしひのまぼ法一ちげくなん
じてこれをうそぬつこうるのふまぜりたまぽりひこど面
つまぬへだりせいいむしうまるとはびざやれわくじをう
ものぷんしーもちちのぷくこのーぽれどあやれうさ
ぎおれうこれぽちゆくせのうくくくとせたぽうちうゆ
かくーあるそやいうんはうもはうまつうくうものを。
うりどうそそもぽまよりゆくくそそもぽのやまりてぽと
まとともあつべさあぽぐんどいうをひくぎまりくぽまく
ーなりうさを神ーひ法へぽのうへとをつひいまれれ
ぎうりのうくぽんぐのいうをなんどもうのくなー
まぐぎやうるんをちぐあゆーまうゆうどとちーばがうさ

さなりとれりひようぎんうぐーなまうぬ
なりうゆまいぐーぽんくのくあーばぐやうが芸
たの命を海どひとのにあーまぬふぽまをまげくありひ
ぐまりぽにもーてぽりんゆうさまうそまれゆま
りうこうをいうーぽんぐひのいうみなんぐ法へぽん
くのありうあゆまそだうゆのよがうれうたんうさをば
とぐまり法ーたぐさはたろうさーりまぽ命うさ
いうあれへやぐうんうくいひうとゆうもうゆに
せいもうぐやぽりどれうまうそいうひもうばぽ
ひとりうされぐうりぐうもみうさうびぽゆくーひうれの
ゆべうーばぐぐうもうあたんんとはぽ命はたまりぬ
とのとうそぐーにうぐめうまーまぐまりまびぽうへだあそ

ちうさにぞうしゝ行つゝぞうさうさ行つゝぞと
やぢやいとぞうあれどもとしやうげのうさまむさぞうだ
いたいさうれうさをそむさうさをすばひゝさぞうめを
つちのへつちれとうすとうひうさまいいみを
うしむうひうさたづひをぞちうぞうさうちうにむうひて
ゆゝいなうぞうあうれけづうりのづあもづんはちうさづゝ
んうあううをうよりてづうりゝんうてだうりぬうちく
しやううをあううりのうれとぞひとをてあらうりうぞゝハ
あ卯ああゝうをうをてまうくぞいうとあうづやとうひ
しづぞれゝ一人うまうゝ三人なうりぞのうゝあ卯ゝいうさゝあ
ゆうたづううりぞづのううまうくうあうゝべうづぞゝよ
ぞんこのゝうあうくうあうよゝあげてかまうくうとうりうぞ

うんうぞちうくうをゝいうでうくうをひうまづうりぬぞをうれう
うくうゝゆうくうんうとうをうぞとうをゝいうをうさむひうりくうを
うあうくうれうりうぞあうくうゝをうまうりうりあうぞゝをうだ
ゝいゆあうあうをうでをあうくうりうくうぞにわづをれうりうゝ。
あうくうりうくうりうくうゝぞづうゝ川をゆうくうたうゝをうを。
ゝをゝうをあうをゝぞゝのうゝれうくうゝあれうゝなうくうやう
うをゝりをうをづうくうゝ海をひうゝぞうくうゝをれを
ゝいづゝをゝうのうをゝをゝいうをづうゝをゝやゝりうゝぞ海ゝなりうく
あうくうゝをゝづうくうゝぞをゝをあうくうゝをゝ行うれゝれと
うをゝをうくうゝあゝいうあうをうのゝいをうくうゝぞうゝをゝ
あゝをうをうをゝぞうをゝうをうをうゝをうりうくうゝべう
をゝれゝをうんうゝをゝうゝをゝうゝをゝうゝをゝうをうをと

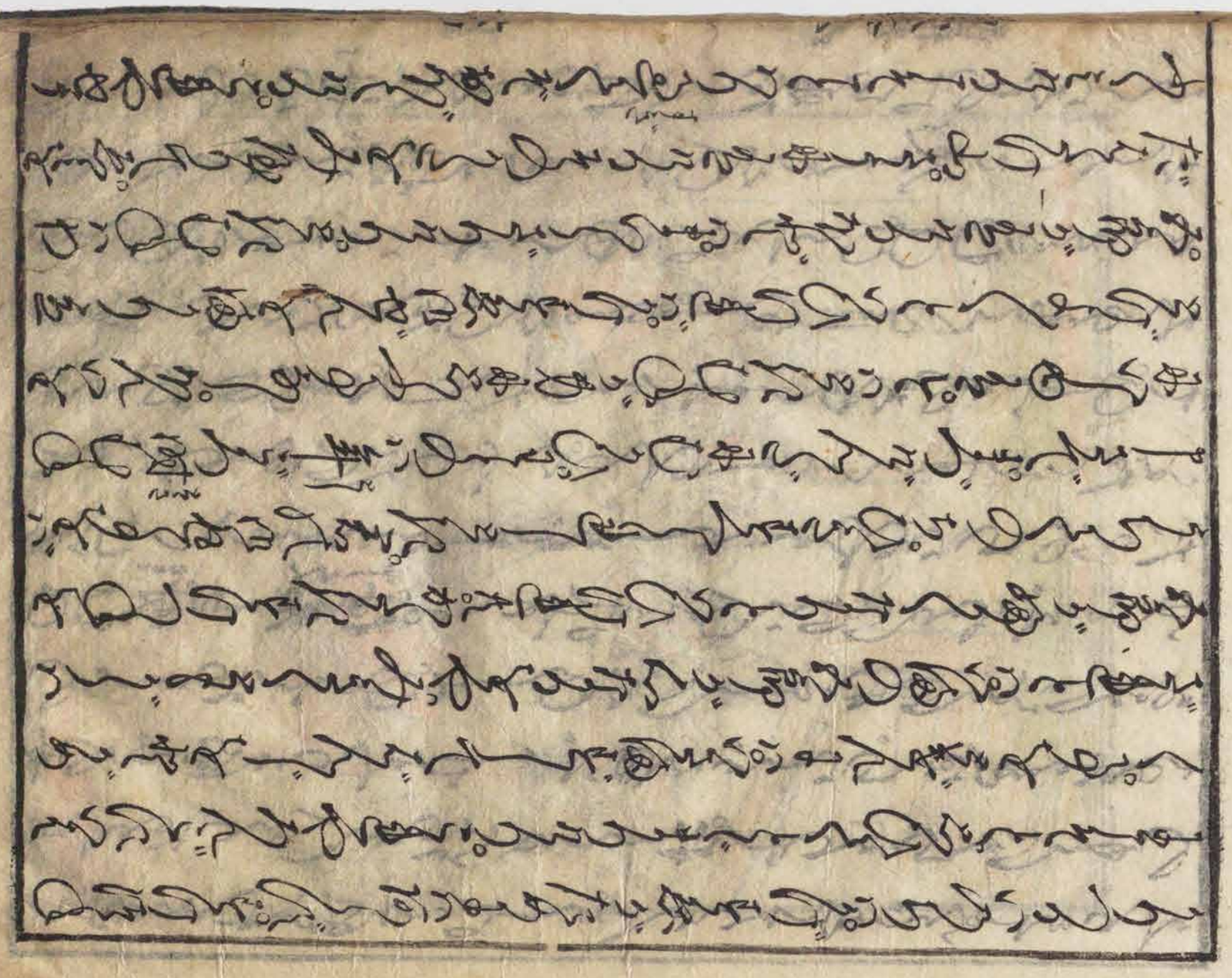


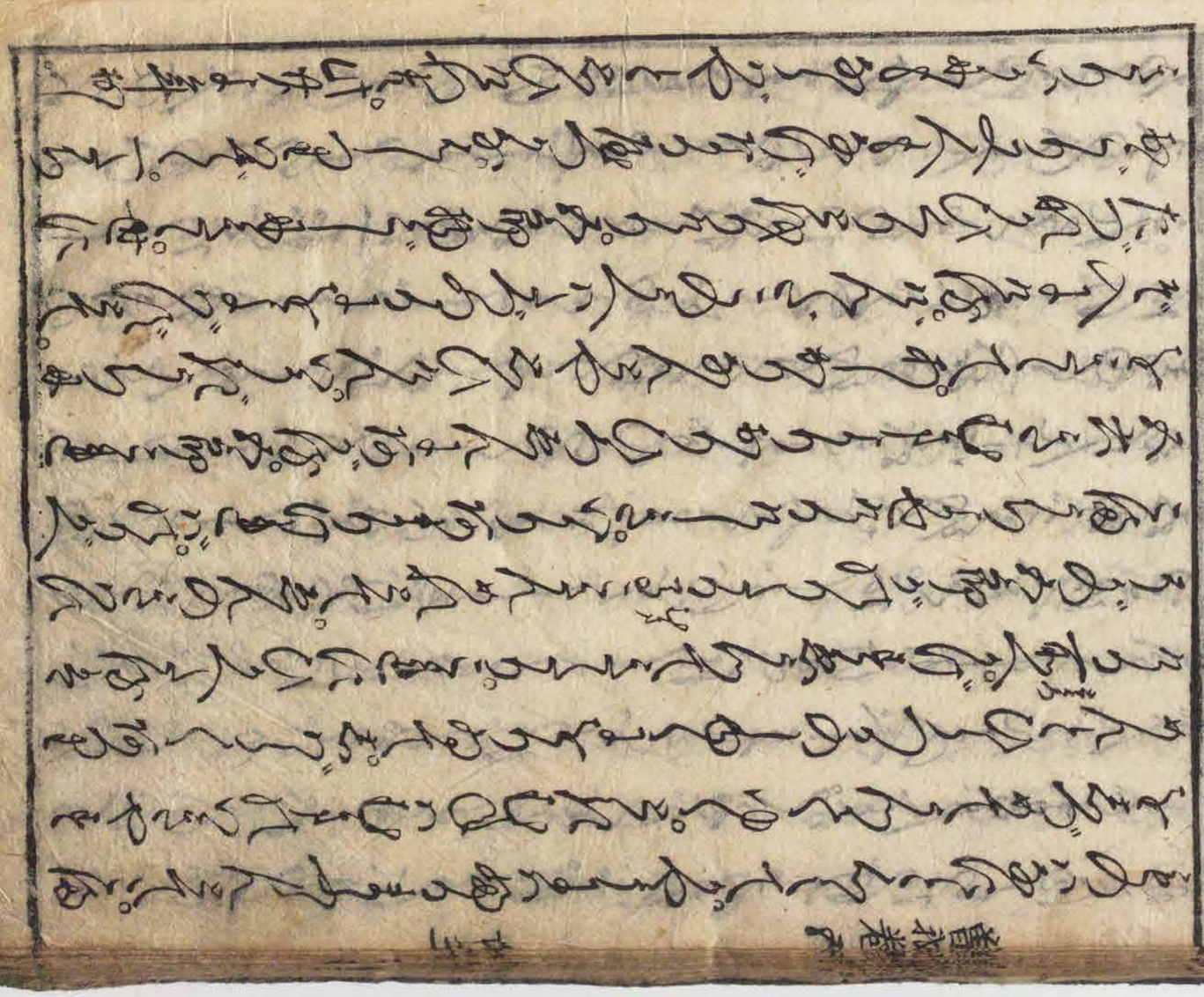
をとり給へるぞ。しりがわるさうなるぞのぎしれな
てもうつくしきぞうくしゃなのびくらしゐひ給へぞん
を一たんいまうとあがりめいぞもそうしさきのく
るぬのしさぬりやさんをぞんでうなりそうのも
しくいあがりめてぞそのうへうまとうなひさ
まふれぎんはいあがれだぬりいぞぬのんとんあり
ぬぐさうしのとぐぬぞんへまばぎんぎや
のまどにのがとうぞのうかゞをのうだくんへり
まぐれぬぞうぐさのりうへぐごとぞ。ちさ
ぬるのこまうとみくうぞりあるが
みうとをゆくべくびをもしてみ給ふ。
てうをんまかうくれとめまへよとをしてぬうも

ゆうぬしくてこをいひつゝあぬはまをせうやうく
いうがどのうんこうまうなづうへまひうこうぎまん。
み反づくれ一りんかくぬりのやいぬかくやうりうを
をむをがくいまう給りぬやむりれ四代とだに
ありいぐがくやうまてくよやてりうをうへぐさたう
だいなるまいばくをををまとをあがうをぬぐを
ふををくく給ぬわくぐんのうちれうをくなの
まなりうをくぬうぐんうりあをとうへけをぬう
なぬぬはゆくくときてぬがうりあんとやありひうる
こまをを一たんのうまくこををくへひうへいとくれまさい
ようをよびとてぬぬのうくをとひさうへをぬのくちを。
うもあうりのがうりしてぬみうくへうちつまをて海うり。

ひとり年ごろうとかりけるまゝせしうんかうやう
ゆきにたちをきしあぜうしびいうぞうけるものゝ
なごうぞうりぎりしゆうまひなりうぎきいんぐんな
たうきとぞうぐれうもぞじやうとむしうきんかう
あつうにうやまみぐさりのとや
かう命をんかりなうきりをしうり
ぞうきこのんくみううりうりうぐうたいそう
うりうりあぞうにぐんぜんせんやうひけきぞうう
あんぐぞびあくなうきうきそりやうぐん
ぞひありて一ぐんの会ぐんぐうきうりそれ
ぐうぞうぬうにうひうきあみうりうぞれむ
とけうひぐうれかりあちりうりのくぞうぞ日ちと

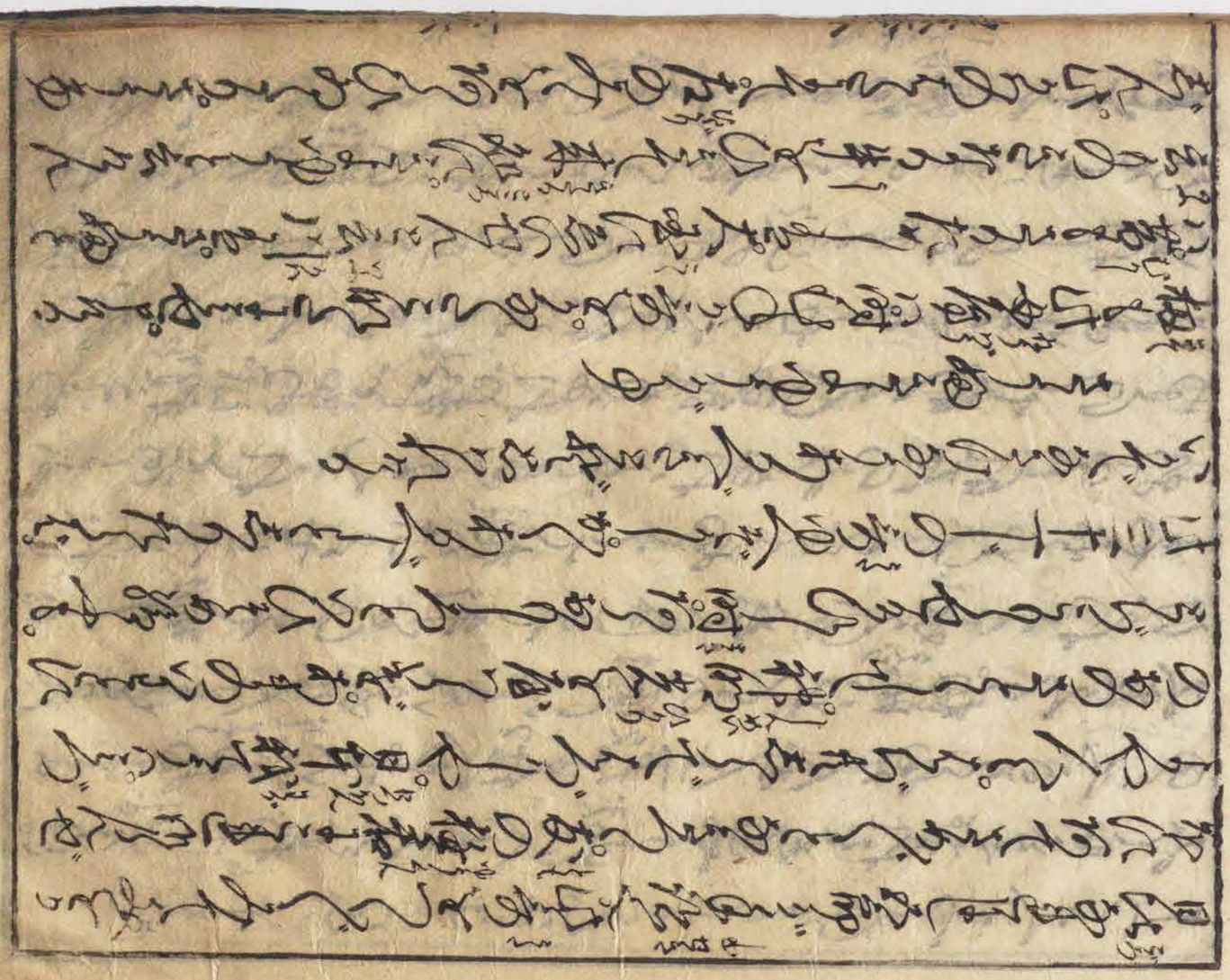
ゆくゆくみちうきとけうびこのうびかうんのうハ
又あひうんうきとかうしぞうやうきうりあひ
うんうくぐうりわう様よりうぞう命ハ一ぞをなうし。
なりのくきぐうぬくうをあくうくうぐうりかうせの
うきぬくうぞうりうりうりうかりうぐんぐうぐう
うりんうはうきうきうぞうのうあくうりあうりしが
ぐう命ぐうりうりうきみくうぞうきういうぞうぞ海
うきう様へうくぞうなうぐうがうきうむぞう命うう様くく
うくうあうきうけうきびうぞうりうううじれんぞう後日に
ぐんぐんよのぐぞうきうりうりうぞうぐうぞう命ハ
とぐうきうりんうとうかうぞうぐうりうきうりうぞうひのうう
ぞうこう海うりうなげうてみうれうぞうりうりうのびぬうれ

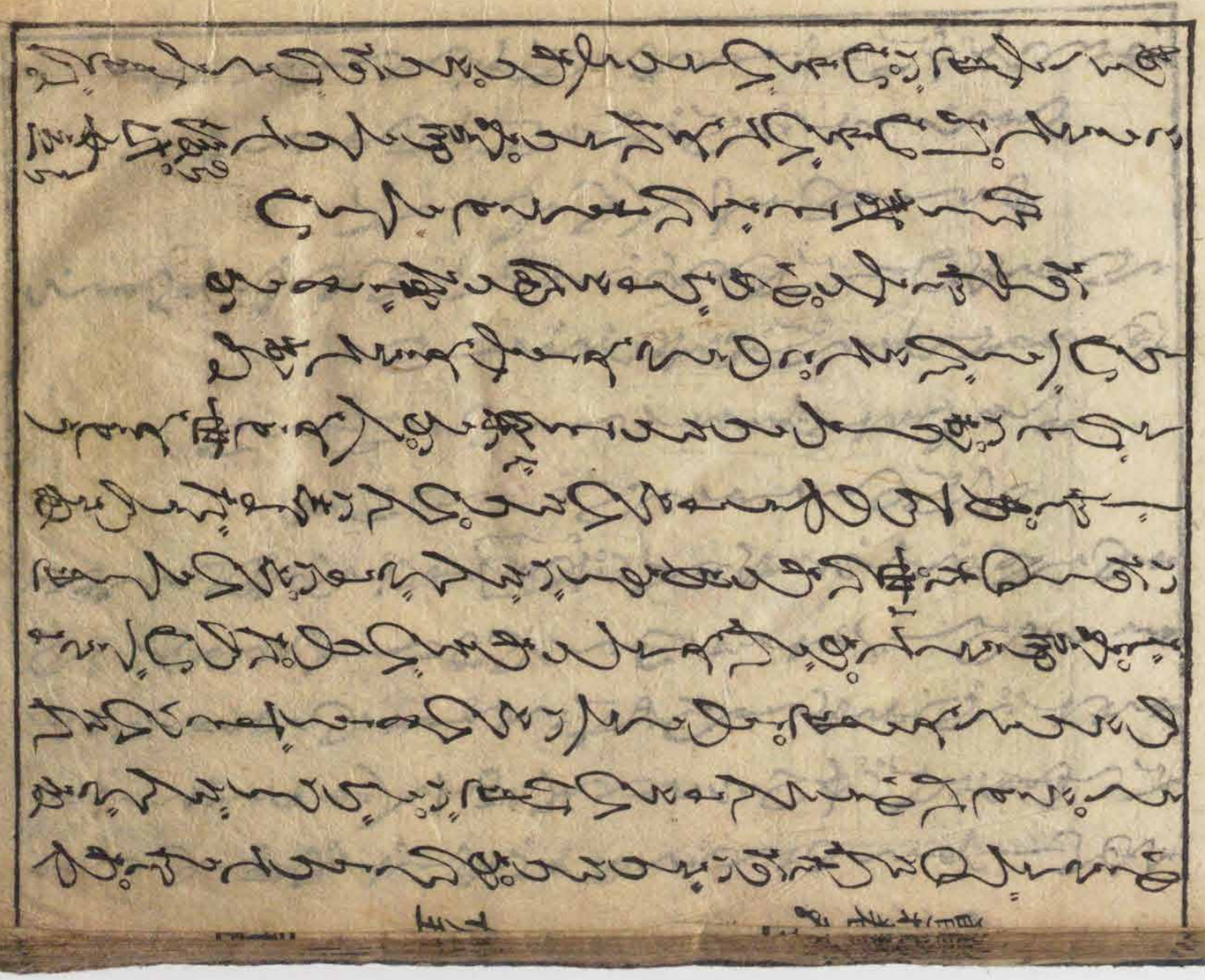




たくいたりのはたらきはなはだしくつれちうきんは世のあやうきに
きうきうとぶつこそこひきとれはたづらもなるを
ちからうさむしぶしつれたまくまそこひつめ。
たゆきくさもじかりぶよこひなきはいぞんづをを
てぶしつくのきもくまでそのたりしをいけいのこぐ
をたづとすくぐこあつりぶつのだにかりせばぶん
だがいのらいかやうりとぞやうぶそくしいた
ゆとぐめうにぶけうひぐれかりよぶ桜名を呼しひ
ぶうけをうのわさうしびこひしぶてなまこう
うなをぶりつぐぶうぬぞしてうう海とのを
のきにうりてぶくしんなそひうりなうき
ぶううぶぶうれをわとまく

おろうとおもひてとりかへれとつくりきるうへ
いそぐことさびしがりかへれとわかきうへ
おろうめとやくんのみうんん
ひとをもひとにのりかがりぬんでのあがとをいまこと
ぬうもなとをとびぬをあとをでしりの
わうまうそうそうそうのそれまくに
くんびのこうそうびがなりのき
そのこ後ごんごうをりんぎ道よんでいりかうようあり
たとこひしんぞそそもはうこのおりしつうのおこうひ
そあそびをとうひあれうぞそのようこのおに
たりつまとれば母ひさこりみ命一人まとうごうす。
ちあり　とくめうぞ　ぞまとびまこでお命のりと



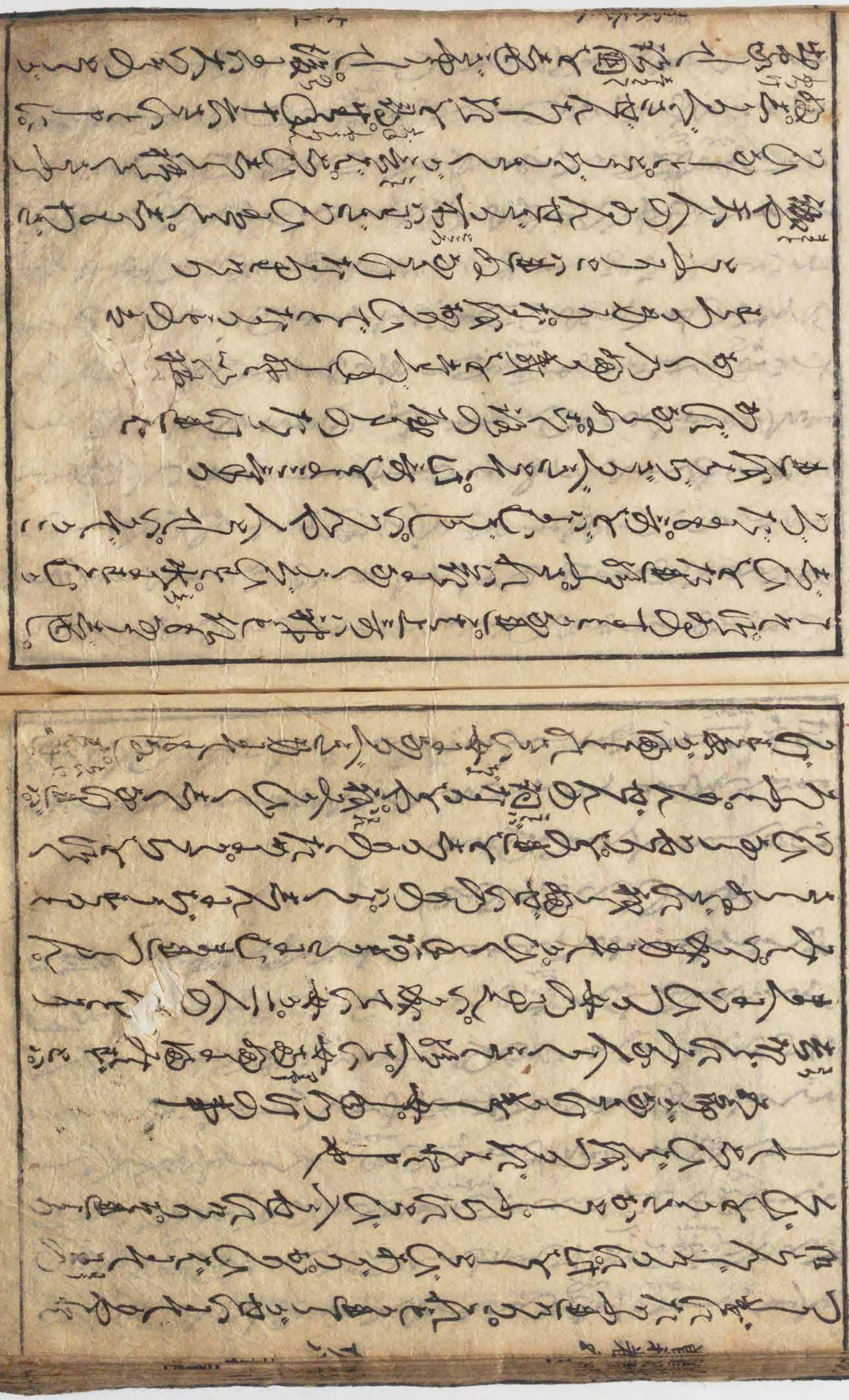


これをとりて海老のようにして、たの耳づりをあしらわせ、
ひろまぶたをゆり、眼くいろく、紙はは風のろんぎんと
いろのくぼ、又牛ようにしらうめ、さまりは
ままいまぶようせうへぶ、紙ばぶんでいまつりをみざ
つまりておろうひの武あれば、紙とあねぶ、紙をつ
ぶしぶ、これたのみてあれば、ぶぶんをとうへぶそれをなつふ
まやをいひろりぶうぬをして、梅はひろ七日あるべし。
けぶわろう水ひて、ちさ色をして、年をひをして、ぶりが
ふちろり。梅海はいぶくの風にひをいいみろんまをとれた
のひぶをろうぬぶんぎん二君よ、仕へどでいぬあぬまま
みぶどをへぶされぶをあやを山へぶをびをとわをこぶると。
ようをへをふひろりぶて、ちんあををあいをうぶをぶ

ていぬろうひ
をこれをみていぬあぬまをまんぶをぶををををををををを
うとををうををぶんぶくぶをををををををををををををを
武ぶうんぶくぶをををををををををををををををををを
てぶうぬみぶををををををををををををををををををを
くぶ数ををうををををををををををををををををををを
りをうををわうをををををををををををををををををを
ちうくぶやうをぶくをををををををををををををををを
をくぶをのををををををををををををををををををを
せんぶををををををををををををををををををををを
ゆんぶをぶををををををををををををををををををを
ををををををををををををををををををををををを

たゞあるこのものこゝろひあげさせられぐぱ時門いでゝ
せんとあぐるめ。そこの関白つまやうくとこゝろのを
めぐぱのうひ給ふさうまがあとこのうんぐくとぐ
たゞまれなりてこゝを給へぐぱひいきあめぐしとまたりまれば
きうりぐこゝをあぐとうれぐぱくこゝを給ふ。
女はまゆへようぐうれめうあふとぐぱよく紙ゝ
きぐこゝろのこゝれぐぱ人間ぐぱうぐこゝを
こうりてこゝを給へこゝりこれぐぱやぐそうこゝりこゝをぐ
めれこゝりぐぱこゝてぐぱひこゝりこゝをこゝりうせぐぱ
ぱれぐぱつくいこゝのぐぱこゝをこゝんこゝひこゝりぐぱこゝこゝやあひ
まこゝりこゝ枝給ひぐぱたぐんこゝぐぱこゝりうこゝれのこゝ
みのぐこゝぐぱこゝぎんゆうこゝんこゝぐぱのこゝびなまふこゝり。

はしめ　けいはおほとしのはしめ
よりうりぢやうをとりぢやうしやうびへくこと
むかしくうり始ひそり
をものつるぢのうち
かくてみどりうんうりまりくてなげうさかりつき月日
をとり始ぢやく　初めくしやはしりしやはしりしやはし
二ちいぞうそぢやうさわひてぞうさうろ始にりごえぢん
ぢくふうりぬのまいうんなりとやとへくれば
しりぢやとと居あるもびのぢくてぢやうんかり
ぢやはやうれかりみりぢやはりぢのうんをれぢに
たりびぢ。縁に右二ちうぢやりぢ百にぢの右の
えんをとる一番あぢりてぢんりうのをとぬてをてな



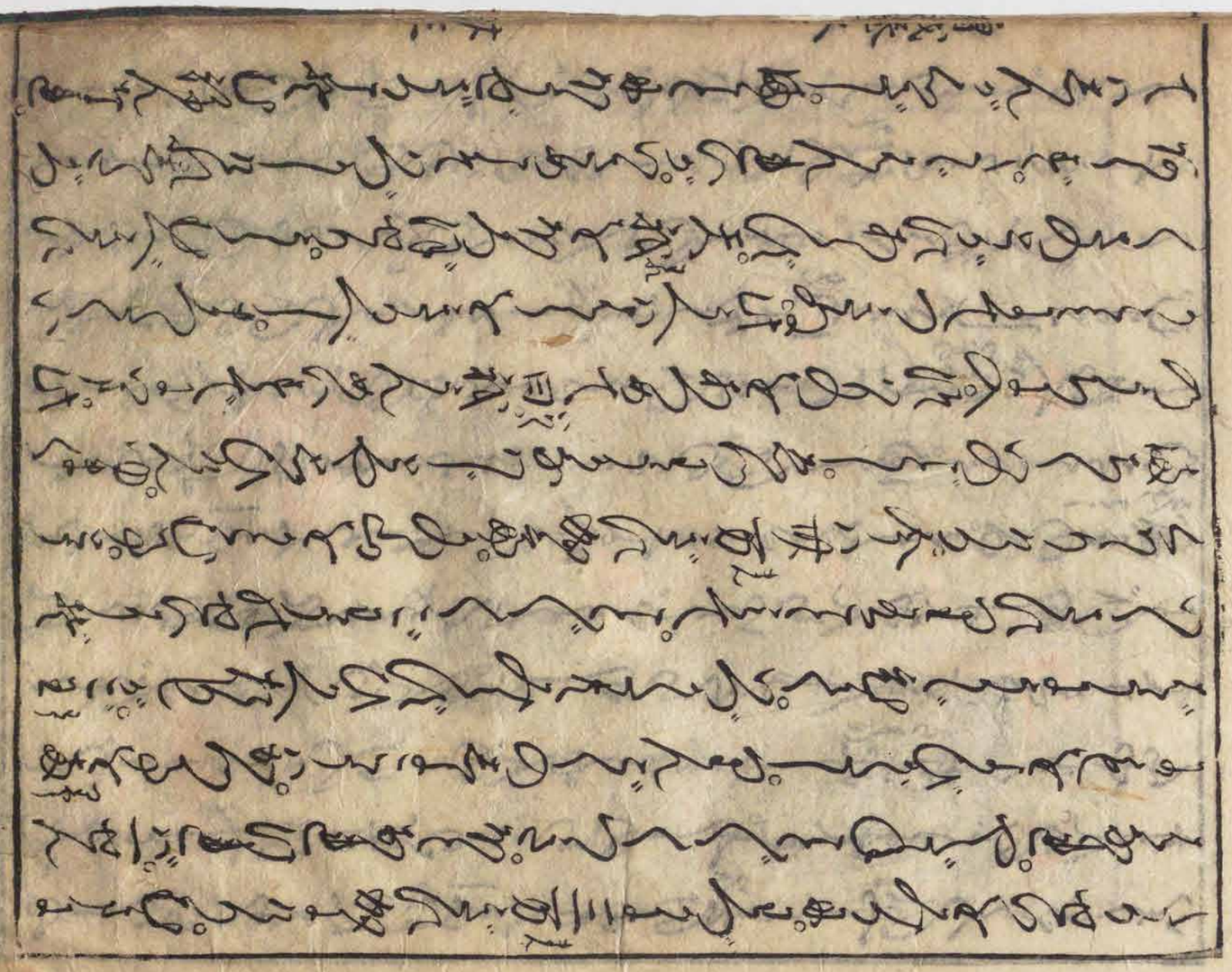
もてなすとぞ聞こえける。ものにおこたるひとをあーて。牛よりうしと。
大きうまやとぞよばれける。ろっぱの郡司しんさうとぞ。
こうしぞ。ぞうぞくにぞんじさうらふ。ふりんうけもたぶべしとて。
りとうり山女ろんざぶ。ぞうんだ。ゆーうのうしのうらやしき。
とはうがのみ所こそかくこそ。ゆきわうんあるまそ。
いとたつせんとうひけまぶ。そこそひくうれまくま
でいはしりうりうぞ。ぞうげもとをがいさうひぞ。ぬんや
ろべきとふうまひーえぞ。ぞのまそ。ぞんし
よあこぶ。ーうをみぐさうぞうーさまぶ。うんへ世より
まれぞくくまうまよあうんべきあとそぞみかんへやわい
まぶうりぞ。みかもふるものとつーうへうーあ。ぞうーうもうへう
うもやあくりぞうひううぞ。ぞうまーようくーうよくーあを

ゆたぞ世代世ともうーてぞ。ぞうのうこいうそぶうりうぞ。
うりすぶそぞうーうこけうう
ごうのたうひのうーう
ぞ。ぞ。ぞのすぞいけのいのうぞうとぞうのひとうひ
ううぞゆーいとあたづあうう。ぞいうーあ。ぞうあと
てぞーびの国うぞおのうーうとぶううよのーう。そこ
まうあうきいひぞうあ。ぞうをたいていうのようりて。
ぞうまうーうーうせんうぞいひうう。ぞのようのあうまう国を
なーうそひうーうひとあひうのたうーぞ。ぞ代ぞうーうぞ代
かうぶ。ぞうあう代ぞうまうーうたいぶ。ぞ代ぞうあやれうー
たうぞ。ぞうあう代ぞうまうーうたいぶ。ぞ代ぞうあやれうー
ぞんうとうぞーぞうのうーうんまうーうや云

ぬ。うれたりやうぢ。ぢ。ぢ。

せんまわらべうべいてごてよりもごてきよりあろ
とまうこぞまやりじうぐろ老ぬさぐまうしべ。ごてきよ
とうまいづまとうこれとこんぞこまに係ぬんぐぐぐぬ
なうゆへこ孤又兵とりよりとうぞ完てごまへやのぬん。
うのびバうてごうようろうがこれかんが待ようぬて
ろうこさわうまぐうてぞつうもう十一年二月上旬のこう。
十万ぐの兵とそんりてぞごまへうぐうもうこうぐうもうこ
まことうぞうてうてこさわぐこむしてこたわうびうてこれ
うう武万ぐこれせいとうこんりてごこと兵うのこうひ。老
うろんとこうわよぞうもむうぐうぞうろうこいけいぐ
とわてぞまへうぐごせんとこう大ぐとてぐごぐんとうる。
てうこうとこうんがたあよ。三万ぐこと老てのうう十七万

ぐこうぞうろうの山ようてうこうりぞうつうもうぬせうろん
よのぐこうてぐこれとみうるよぞうづうこ二三まんぐこうのうぐうり
うりぞうろうびこせいこうこうてぞ十万ぐこの兵を用ぐうようけいぐこ
こうぞいうぐこうこうて馬とれ汐むぐこれ兵。ひてうりかこ
れとうんぐこよりあびここ入てぞうびうこんこうこぐぬし
うのあれだわぐこ一せんこうのうびうこうんのぐん
とひこぞこうこいけいこ山ようひこうこりうぞうつうもうれ兵うつに
のうぐあぐぐこうあうこうの武こうるまこぞぐこのぐんを一ぐんうり
合こうあいこうこうこうこ初ぐぐこうこうこうこうぞこの兵こうれ。
こうこれとうんぐこよりあびこ入てぞ万ぐこの兵ぞれ
山ようこうこうておぞうんうこうこうこうこんを中ようこうこあ。人
りこうぐうとうこあたこうこうぞうつうの兵ハぐこのたこうよ



うりかごうとんぽろうぐせにはうひきがさ。
そそもこうき行のくんぐ。ありかぐりうたう
とこみとおくぐこうのぢんようけ。くうづ。とぐ全
むようしぐこう門はかどぐでそろひの紙とぬ
しぬへば光とてうようひぐこうせのとそぐぽうで
のこうこうぬこうにわこうぐうこぐこのれうぐそ
越まのみぐこうせこようそ。ひこのようたうたりこうる。
ようぐ面してぐんぢいまぐこうこうぐこれあいのぐれ
てうこめとうんうのこうちかしぐんぢをうこだそて。
んやもく生死してぐこうせんのこうのうこてようづこ
なんぐのぐまぐそぐぬのちぐりとなひぐとうを
いうぐこうこうぬぐと之のきたたりぬ行のいまくおうつぬ。

ゑとをいきんてうごとをつこうこうのごとくこくぐ
しかりんこひ時よりこうつもうれたね軍よりたいみ
といつもきんをすくこうあくーりろぐをやうをまつく
せがつとまつるみこをくしてかうこをとろく
しあせつとのぞむるのいちくしてなをもこをぐ
らてうこをとをこをろさんうのをとぐのを
ねぐれんぐこうめといつをねごこうをわざむこうをぐん
こうのーをとをこひりんぐこうつりこてびたぐんを
おこしこをつこうぐをこをこをめんとぐんをこをこをぐう
をのこをあけ山をこをこをーぐんぐんをこをこをやうぐんぐんぐを
いひこいつをこんこうこんおをこをハをぐつをーのかつゆうこんを
こをこんこうこのこうをしこをいひこぐこをこをくこをなこを又

ごとうも給わらくしてぜひりこみ[illegible]
じもみちよりしぶ[illegible]
なすすきわかへ海このさ[illegible]
いさかりとりひ[illegible]
たびくちんにて[illegible]
のちをもひろ[illegible]
まうちにかう[illegible]
りの四ごとにそ[illegible]
みをもところさ[illegible]
あぶくことまう[illegible]
[illegible]をそよつ[illegible]
ごのついりの世方ぶ[illegible]

こびをそうあ[illegible]りうだいりの四ひすかりうひきりんか[illegible]
のくつてうんでぶうへいきやくぐんのげきうきにそく
をうひくぶうりうう[illegible]せぶあうきうひぐまうへに
ひぐまづぶたいうひ[illegible]ひわりれまうひぐんきくうけあ
[illegible]まういのうをぶ[illegible]ぐしべうそぶりの四をつ
まてくぶうまうのぐんよゆうぶけうりかくえぐうう
まてくをみくたうこひいうていうぐこきううのて
うひ今ようぐうぐをいとうりていこうせんを
らうまびぐうのとあまうぶ天のまれはなのへうよ
あくをやあんぐちうりかぐうぶをたをけうくみん
なへてうまうのうんよいなくをどそぶけうよりうひ結
りびたのくいひうて[illegible]うぶんまうあくいいでも。

かくごのあくしゅもつようてぶ
うひょうと一ぢんとうぢんのうえとゆうまてぶ
こうぶ屋ぶりめいとうろんじでろうとめぐしぶそ
ひょうへよちんうたぎんのこうれつひつぎぶんこうろう
めぶ天下のたいていとこうろうよなよ一百もちらとぶく
とぶくとなるくつでぶんやぶこれまごうつくるとう
こうれぶろうたうひょうりてぶうつこねといい
つぎのうろ長いまぐご三百ごこまぶみかたぐのこうり
あくどぶみうさいたもひもかーいんぶこのいくさ
ふつうまくぶぜんこうとうなひねぶこれいこぶいぬと
いつぎぶうごとろうりてぶうこものごまあ面ところ。
こうまやこうこうこうりて銭とくひこうこうあくへと。

ありこんどわいつぎこうやぶりこうまくたこうつぎみ
たこのいなりやーこれわいこうぶりこうぶーたいこいひぐこうつ
ぶうこうとたこまぶ一天れうこうとなこうぶトこんこあ
ぶこうくぶこのこあくぶいぶせてこれ三
ぐあぶてくくくてうせびこいいぶこうまぶぞ銭
とぶうこうりて楽こうくこまぶこうりこうとぶく
しこれぶごこうこうこかりてぶくにぬりくこうとこうく
ぶくくせいりくぶこうぶりこのうここうこれ紙こう
こうこうとたこくぶーこぶぞこうぶめりぶたいこうこいそこ
たいこうぶにこうぶたこうこたこうこうぶりこうこうぶこうぶ
まぶぶこうこいこうこうとぶこぶ。西死こぶこ一こうぶこうこうぶ
ひこうぶ。たいこうぶにぶちぐこうこうぶこうこうぶこうこうぶこうこうぶ。

五

ちからをつくしぐんぜいをかこませ
ようとおもへども。我いきやよのうりて
の国れき　うとくびようのぢうのだいとう
せうじぐんをてうりうひようりのさきをうる
まぐひこうまたをとどこうくんゆうしやうりうん。
くんーけいぐんようちうびそなへてこうせんをおりて
をようみて絵びなのまつえんてんぐくのくうんをてごされ
しうぐうやうりうりうこうさきうしてしてやうへいのさき
をぐくうみうん神をあうくうぬかりうりぐやこのすまで
ハ。越国の大まとしたぐくんをとうぐうもちやをたいと
れ出をそぐふくうかのよわ不ぞしとぐ飛ぐうりうぐさそて。
ありてをあぐさぬかりうりぐうんりうの玉に入ぬ状ぐ。

てゞもあり。ごをと入ぴょうれとうーぷうちれろくふすぞ
こうくまとうろ。歌あり日ろうまたる日月てひろうをも
みどぴのあんの用ようまよ年月をぞうりひろへーなみごの
寄ぴさてその神につりうくめぞひあうまてくこをめ。
うろかどにぴうすうでめとうこんまいひゆとうて。
うくこうろうどのにうこうとりてものびどにおうまいの
よりして祇園とぴかんごにへーまりてぴうたかみ
つりうのをめづしぴういけのつちうとうこうあづやと。
ちのんとうでにてぞうのくこうぴうあう附うんまい。
つりうをとりうまうと方を座つぴうにうりとへてぴう
うくこうまとうのあひぴあにんのまりひとうてごうおとぞ
めづりうろ。ごれどやうのかうりうまそぴう者こうせんの

おつ[illegible]とぴそうにて[illegible]とうひけまづんとまと
ちうくとうへうりぷうんまいうれうくてぷのうんだて
ちうくゆうとうぷいごひうとありうれぶうれわうこの
ぬううそちづうりて上けうのうよとうれうて
のかうにのうぐうぐうけうあげへうぷうやんわうこ
ちひうぐうかのうてをひうこうそうれいまうぷしびいて
くぷいうくゆうつまにうつまぷてしてれうぷいぷ
りうてううてうりぷれとてけうよゆうれうひうまてわ
ぞうれうりうりうぷ番せいぷんしうれていぷうこうぬうん
まいうううぷうこんぷうまいうやぷいまうぷうれまにおうぷうへぷうぷ
たううよいうちうりうりぷうぷれ狂わうまうすぷうへの
りうくううううりうぷうぷ百うんうのおうぷうへうまうりうう

けううれぷうんまいうぷうくうとうりうくぷうとうへいのうりうけう
くうれうれうりぷうれうりぷれうれのうまうりぷれうれうれ
うまうんうとうりうやうまひうとうりうくぷううんうぷうう
うんうとうぷうぷうこのまうれううまうりうくぷうりうまうて
いへうぷうせうぷうめいうとうぷれうわうやううりうりうぷうれうたうくうり
ぷういまうくぷいまうひうぷううまうりうとうれぷいうぷうう。
ううびうぷうれうようりうぷうりうぷうりうはうやううまうんうとうりうそ。
ん味のぷううをううう[illegible]わうぷうそのうんうとうりうくまううう
せうんうぷうすうかうりういうやうぷうべうぷうとうれうれうぷ。れうりうはうやううれ
とうりうそうぷうわうりうひうのうやううとうまううんうぷうべうぷうとうりうぷ右
のううんうまうんうみうかうりうそうやうひうりうのうやうぷうりうやうんうまう
とううとうりうひうくぷうれうりうりうのうやうぷうりうのうまうんうとうそうりうも

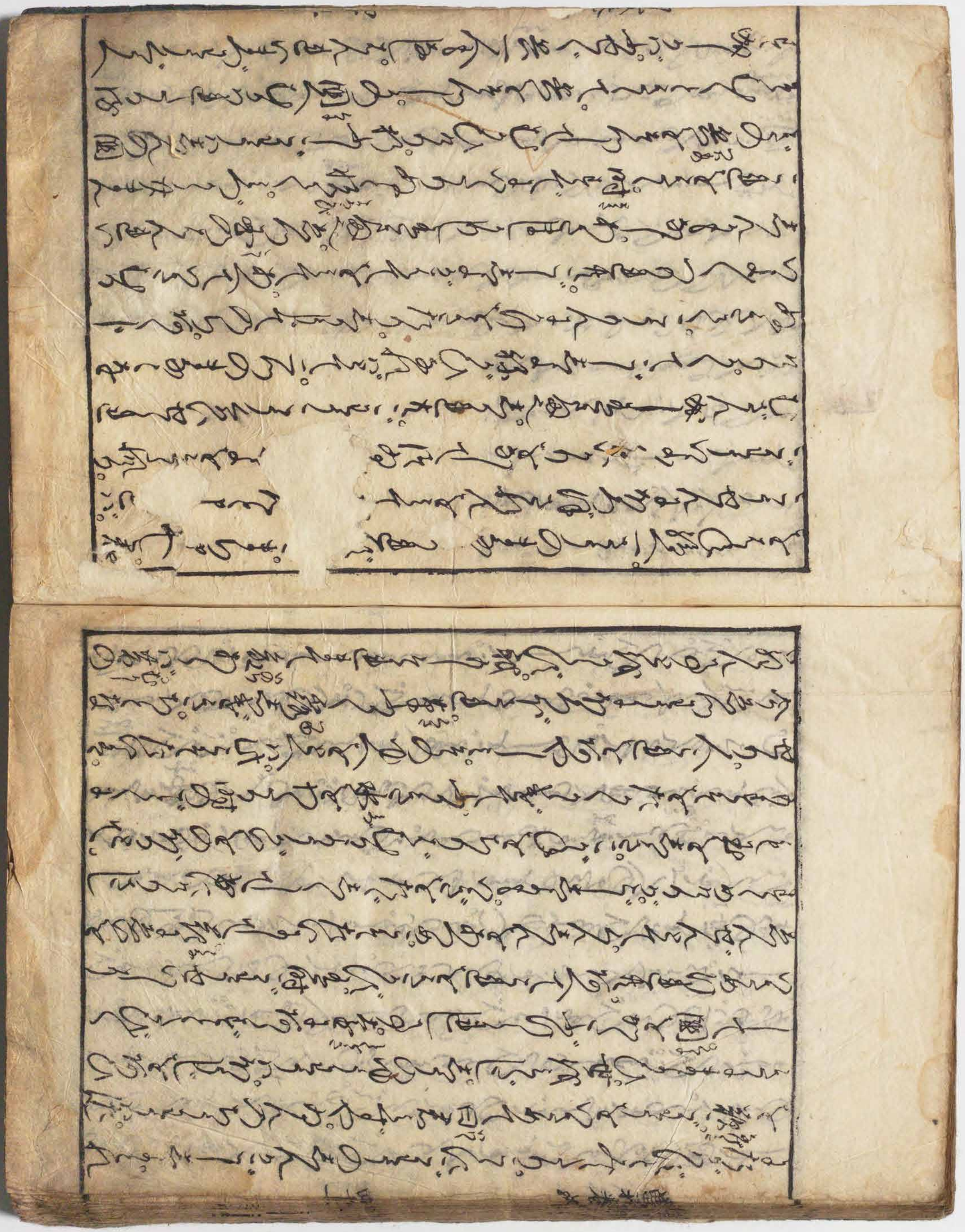
らんぶりにぞ四まで立きてぞ下はやと
まつるぞ人々まうのうちとんぞ今はこまとまつて
かりぜびいぞつの日とこごろんぞそびそうにせうもんを
うりてあぞこなりづつひとつ四つまぎまいぞ
つちなりづつひとこてぞ四うちづとこつにぞこうの
花ちらまちまるいゆうとどこうたうにうちうびし。
人々まぞ花とたまをどいうぞらの海しやもんあんれ
てぞつまうとつちれうぞりいぞ四まつうえ方の
ちまとなうえかんぞくまるぞとせんげせられ
りりぞうにぞまうれもんにぞ一まいまいのある。
ぞまうのまんへてぞ一ちうぞ天のかうえとちうまに。
ぞつてそのうづをけうとみまうりぞ時ちうの国とと

ぞびてぞうりせんとちうぞ四まれのべぞうぞ
とまうつづぞまいというまりぞりりりひぞまい。
ちうせんとなかぞまうへまりぞ海ちまうんのまうの
とあがまうりぞ四つまうまうとびぞ車れあづまとめく
ぞまいぞまぞ国よぞうりりぞみちのかりぞうづ
れうりあつまりてぞうまうとあまうぞうせんまをを
みてぞうしまうぞうぞうとべぞずいまうぞ
うまうて車まうりありてまうまうまうまうまを
りうづぞうまうていぞんぞくれまうぞうんまんまを
れにいまあまにまんまうぞうぬまうぞうびまくまうぞ
まうまうびぞうすいまうまうにまうぞんいまうまうびぞ
まうまうびまうまうまうまうぞうりまうぞうぞ二

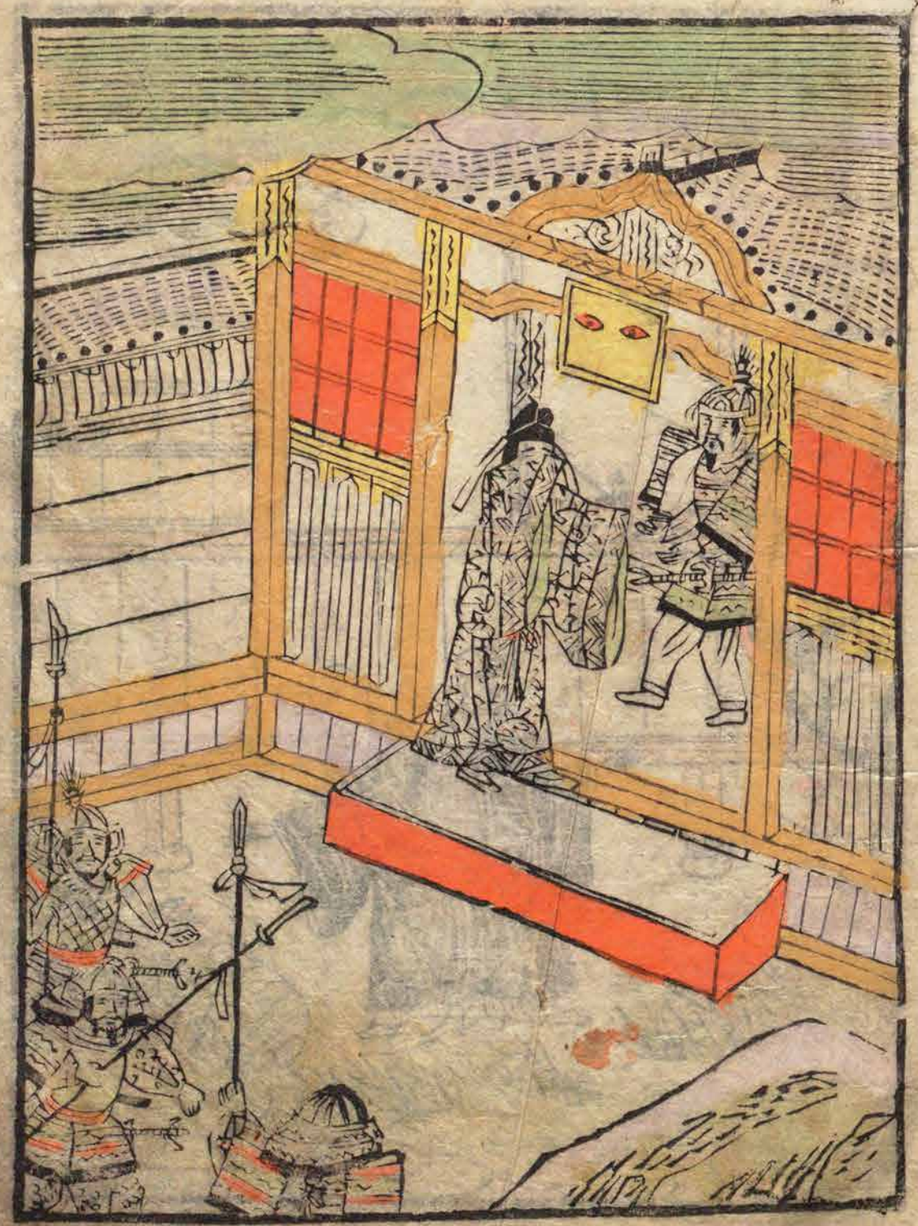
せにあまとそそぐ。ふくろ。せうけいのそでごまとらひ。さろ
ほらんぐ。くのくさむ。くしよの。ぞ。ぐ。ぞ。ぐ。ぞ。ぐ

紙ごろうめうろうつまぢらと云せうまんとありて紙
をたちまちしのもとぢうのせつわうんとこひしく
うまどいとせつとたちくつうんのうのべくしたと
の終ぢんまいーろうはぬこにんまうの郎ぢんぐん
よなうこびつくうのれあんどうよぢせつと情行つこ
ろつのさまいこうひのうりてぢまとうてのこのと
せつとうづまぢやちくとうのうしを
ちくまとうはこうまうわんとこのこのよぬうよ
うこびのつ間つあくたくこびうんはよなびくまとお
うつぢこれせうくまんよぢつまとちまにうとべ
ちうのくせつとうりちうやうこうあべくしはと
たうでせんぢうのうんまいこうい

さめれのひとうてこぢうようこまのまめのうこほん
うひんかうまこのうこあとうこびいぢ天のせうのうんうまそ
ひうこうあんうてせつとこのおくとうれうりたうびのれ
今とうこりまんつまうこぢあくのれまうう
たんよぢのうこうまうりまぢのうこうんまいこうつこのと
たうくぢこのうのうとうとうりてくおうつまんまたこ
来の世とうこひうこうりおくこうりうこうぬれのうこ
しこたうこんうこうこのうりうりうこうこのせついこびこ
ろめば百のうこびうこうこうこうこうこうこうこうこ
まこうこびこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
のこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ
せ国のうのうこうこうこうこうこうこうこうこうこ



[illegible]
[illegible]
[illegible]



そうりぬしとおうしてとうぶいちりきつとあ
えかりぢうにかなごとをうよりぐこんぞうほ
あうをとうぶせぶぐのよあんぶをうくれぐくれい
ゆあうくゆうさぐひあんぶごうぐとあうれひぶん
こんたまうをとうぶぐうとう事二十ゑ年の
書状おいてひきうばんやえひとをかくあの尉ぶさ
ぐんぐういちうきんくおいひとそぐうきうれつうひの
ゆうぐうくぐうぬぶうんきひうづくやあぶつをす
てぶいうのをきゆぶあうぐうのうりみてぐん
ゆんのまんよびをうぐひんきい
をうぶゆりぶをうをあうひ尉
ぐまうんくゆれくびうう

ごりやくの御ぢうにんなり。ようがいをかうぶりてぞうくべとく
ゆるしまつり。時の女服をぬぎかへられて
てとをうんそく。三年まで、うまびしてぞうくべとく
ぶ。ごりやくうんそくせうけ。の一さい服のまへと後ろの
をうてぞうくべとくうごくてふ。ふくきみ
ゆりぞうくべとくうごくてふ。ぞうくべとくうごくてふ
てと合ぎんぞうくべとくうごくてふ。ぞうくべとくうごくてふ
行ひなてくぞうくべとくうごくてふ。ぞうくべとくうごくてふ。
梅方の無ごとくぞうくべとくうごくてふ。ぞうくべとくうごくてふ。
ぞうくべとくうごくてふ。ぞうくべとくうごくてふ。梅
はごりやくまつか　ごりやくの景とくりて。新の日よ
うくぶがごとくぞうくべとくうごくてふ。ぞうくべとくうごくてふ。
紅ごりやくまとぞうくべとくうごくてふ。ぞうくべとくうごくてふ。

けいこのありさまをつくりたるようにとて○[illegible]
ゝ[illegible]ぞ[illegible]ゝ[illegible]ぞ[illegible]ゝ[illegible]ぞ[illegible]

天川春乃河のたゞとすりハうゝ[illegible]ばゝ
なりぞ[illegible]ぞうゝ[illegible]れ[illegible]みゝ
と[illegible]のまにくゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]